

(令和4年度着工 )

令和7年度 第2回計画変更(重要な変更)

草地畜産基盤整備事業(草地整備型)

計画変更概要書

しべちゃせいぶちく  
標茶西部地区

北海道釧路総合振興局

NO1

標茶西部地区 事業変更計画概要書

(2) 農業用 用水路	事業種	区分 項目 名称	現計画		変更計画		変更の有無
			延長(m)	受益面積(ha)	延長(m)	受益面積(ha)	
(3) 農業用 排水路	事業種	区分 項目 名称	現計画	変更計画			変更の有無
(-4) 農業用 道路	事業種	区分 路線名	現計画		変更計画		変更の有無
			延長(m)	構造	延長(m)	構造	
(-5) 農地保全等施設	事業種	区分 名称	現計画		計画変更		変更の有無
(-6) その他 改良保全	事業種	工事種類	現計画		計画変更		変更の有無
			受益面積(ha)		受益面積(ha)		
区画整理		起伏修正 I	461.3		297.4		有
		起伏修正 II	28.5		18.7		有
		起伏 I +暗渠	5.9		6.1		有
		草地造成 I	50.3		33.2		有
		草地造成 II	0.1		0.1		無

3 事業費					
事業種 区分	現計画 (千円)	変更計画 (千円)	増減 (千円)	増減の内訳 (千円)	変更の有無
区画整理	675,000	488,230	△ 186,770	自然 増 減 工法変更 事業量変更 その他	106,000 1,000 △ 275,000 △ 18,770
				自然 增 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 增 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 增 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 增 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 增 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 增 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 增 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 增 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 增 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 增 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 增 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 增 減 工法変更 事業量変更 その他	
計	675,000	488,230	△ 186,770	自然 增 減 工法変更 事業量変更 その他	106,000 1,000 △ 275,000 △ 18,770

II 変 更 後 の 概 要	1 目 的	標茶町は、広大な土地資源を活用した草地利用型酪農を中心農業が展開されているが、農業従事者の減少により、離農跡地が増加している。離農跡地は地域の担い手により継承されているが、生産基盤の整備がされておらず、生産性の悪い草地となっており、担い手の経営の安定化、地域農業の持続化のために生産性の効率化を図ることが緊急の課題となっている。 また、離農地以外の草地についても、営農用機械の作業による不陸が発生しており、作業効率が低下している。これらを踏まえ、本事業で既存草地の整備改良を実施し、基礎整備の生産性や品質を高める必要がある。 既存草地の整備改良を行うことによって、草地利用率の向上、機械作業効率の改善、飼料自給率の向上を図り、収益力の強化と担い手の育成確保に努め、足腰の強い酪農経営を目指す。												
	2 (1) 地域の所在	北海道川上郡標茶町												
	地 域 の 所 在 及 び	(2) 地域の現況												
	現 況	ア 地 形	低平地・丘陵地											
	ア イ ウ カ 工 根 オ 力 キ (3)	地質	火山性土・泥炭土											
	現 況	土 壤	黒ボク土・泥炭土・低地土											
	気 象	平均 気 温	5.4 ℃											
	根 オ	平均 降 水 量	87.9 mm 積雪深 116 cm 平均降水日数 - 日											
	水 利 状 況	根雪期間	12月30日 ~ 3月11日 無霜期間 5月5日 ~ 10月19日											
	農 業 状 況	オ 標茶町における河川は、大きく分けて釧路川水系、西別川水、別寒刃牛川水系の3水系に大別され、その支流を合わせ372kmに及ぶ流水を有している。												
3 基 本 計 画	本地区は、酪農を主体とする農業経営が行われている。													
	（1）事業計画内容	酪農家の生産基盤を整備することで、生産性の向上及び農作業の効率化を図り、農業経営の省力化、安定を目指す。												
	（2）環境との調和への配慮	本地区は標茶町田園環境整備マスターplanの「環境配慮区域」及び「環境創造区域」に位置付けられている。整備にあたっては、施工時期及び施工方法の検討を行い、周辺の野生鳥獣や河川環境への影響を極力軽減・回避するよう配慮する。												
4 工 事 又 は 管 理 要 領	主 要 事 計 画	事業種		受益戸数 (戸)	受益面積 (ha)	事業量及び事業内容								
		区画整理		22	316.1 33.3	起伏修正 I A=297.4ha 草地造成 I A=33.2ha 起伏修正 II A=18.7ha 草地造成 II A=0.1ha 起伏 I +暗渠 A=6.1ha								
	造成又は改良される施設の管理方法等													



